



石田和子
神奈川県議

水害を繰り返さないために

昨年の台風19号から7カ月、台風シーズンを前に浸水対策が急ぎ求められます。日本共産党は畑野君枝衆議院議員、石田和子県議、小堀祥子市議が連携し、被災地を何度も視察、切実な声を議会、行政に届け災害から命を守る対策を求めてまいりました。

2020年度予算及び3月、4月補正で川崎市議会に提案された台風関連の予算が可決。原因と対策についての「検証報告書」に示されたすぐ行う対策、中長期対策を報告します。皆さんからのご意見、ご要望をお待ちしています。



小堀しょうこ
川崎市議

平瀬川（多摩川合流部周辺）の浸水対策

川崎市が4月補正予算で平瀬川周辺に2億3475万

可決した河川関係（平瀬川、三沢川、川崎区の河港水門）の補正予算は総額4億4600万円。このうち平瀬川の浸水対策に2億3475万円が計上されました。

◆どこから浸水が発生したか

- ①管理用水路水抜き穴からの浸水
- ②東久地橋桁下からの浸水
- ③平瀬川の堤防からの越水

◆短期対策（今年の台風シーズン前までに設置）

- ①管理用通路水抜き穴にフラップゲートを設置
(市管理の33ヶ所は3月中旬に設置)
(民有地から接続の22カ所は調整中)

- ②東久地橋桁下に大型土のうを設置

暫定的な対策とし、令和3年度の台風シーズンまでには、土のうに変わる対策を実施する

- ③パラペット護岸を改良しアクリル板を設置する
1億8千万円

- ④水位計、カメラの設置

夜間対応カメラや水位計を更新する
平瀬川-多摩川合流点、二ヶ領本線-平瀬川合流点に水位計を設置



越水の爪痕が残っている
平瀬川合流部



②右岸 越水しないように
大型土のうを積みあげる



②大型土のうを設置（左岸）



③パラペットを補強しアクリル板を
設置し越水を防ぐ



護岸（パラペット）の端を視察

- ⑤移動式ポンプの増設

水没した移動式ポンプの代替え機を2機購入済み。

地盤の低い地域の内水処理能力強化のため、移動式ポンプを1機増設する。

- ⑥6月中にかすみ堤に土のうステーションを設置する



はたの君枝
衆議院議員

石田和子
県会議員

小堀祥子
市会議員

(写真)3月26日国土交通省京浜河川事務所に要請

堤防かさ上げ と 多摩川の土砂の撤去を

畑野議員と石田、小堀両議員は、多摩川と平瀬川の合流付近の堤防のかさ上げと多摩川の土砂の撤去を国、県、市が連携して取り組むよう強く訴え、3月には、国土交通省京浜河川事務所を訪れ、台風シーズンまでに土砂の撤去を要望しました。

◆堤防のかさ上げに調査費(3200万円)がつかまりました！

検証報告書は、平瀬川は、県が管理する一級河川であり、川崎市が改修工事や維持を担っている。多摩川合流部については、多摩川の計画堤防高（16.36m）に対して、平瀬川は昭和49年から57年の整備により、河道整備（堤防実測値（13.23m））が完成していると述べ、越水が発生した平瀬川の堤防が約3m低いことを示しています。

中長期対策として、国・県・市が連携して検討・調査することに

平瀬川の堤防などから越水したことを踏まえ、多摩川との合流部における平瀬川の堤防嵩上げ等の機能強化などについて、国、及び県、川崎市が連携して対策の検討・調整を行うと日本共産党市議団の代表質問に 答えました。



平瀬川の堤防が3m
低いことを現地で確認